

マウス由来トランスグルタミナーゼ、再組換え

Cat. No. NATE-1727

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は転移酵素のファミリーに属し、特にリンを含む基を転送する酵素（リン酸転移酵素）であり、受容体としてリン酸基を持っています。

用途 組換えマウストランスグルタミナーゼは、非共有結合によって結合された2つの鎖からなるホモ二量体（ α_2 ）です。トロンピンと Ca^{2+} によってゼイモゲンが活性型（ α_2 、因子XIIIa）に活性化された後、因子XIIIaはフィブリンユニット間に共有結合ブリッジ（ ϵ - γ -グルタミル）リジン結合を形成する触媒として働き、血餅ネットワークの剛性を高めます。その結果得られる架橋フィブリンは不溶性で、溶解に阻害して抵抗性があります。

別名 トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクターXIIIa; フィブリンリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミンルペプチド γ -グルタミル転移酵素; ポリアミン トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミンルペプチド:アミン γ -グルタミル転移酵素; タンパク質-グルタミン γ -グルタミル転移酵素; TG1

製品情報

種	マウス
由来	昆虫細胞
外形	液体
形態	トランスグルタミナーゼは、10 mM ナトリウムリン酸 pH 8.0、15 mM NaCl に調製されています。サンプルには 50% グリセロールが含まれています。ピオチン化トランスグルタミナーゼは、 Ca^{2+} 依存性の酵素です。
EC番号	EC 2.3.2.13
CAS登録番号	80146-85-6
分子量	83 kDa
純度	> 95% (SDS-PAGEによる視覚的評価)
活性	> 750 U/mg [活性は、Lorand et al.によるN,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダペリンの取り込み後の蛍光増強速度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)]。
活性化因子	トロンピンと10 mM Ca^{2+} を加えてトランスグルタミナーゼを活性化します。
単位定義	1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の増加として定義されます（Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; $\lambda_{\text{ex}} = 332 \text{ nm}$, $\lambda_{\text{em}} = 500 \text{ nm}$; バンドフィルター = 5 nm; 検出器強度 = 600 V; 温度 = 37 °C, アッセイ体積 = 1 ml)。

使用法とパッケージング

包装 50 μg

保管・発送情報

保存方法 作業用アリコットは、 -20°C 以下で保管してください。繰り返し凍結と解凍を避けてください。

